

政策名	3夢のふくらむ港		担当課	企画調整室 環境担当課長	連携担当課
基本施策名	04うるおいと魅力のある港湾空間の形成				
個別施策名	12快適な港湾空間を形成する		連絡先	052-654-7819	(建設部) 工事課
事務事業名	12名古屋港跳上橋の保存・活用方法の検討				

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港跳上橋の歴史資源としての保存・活用方法を作成します。	事業期間	平成21~22年度
概要	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている、名古屋港跳上橋の保存・活用について検討するものです。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	H21年度:健全度調査(委託) H22年度:活用計画の検討						
活動指標	年度	19	20	21	22	最終目標 22	備考(指標の算定方法など)
保存・活用方法作成 工程の進捗状況	単位	目標			2	4	(累計)6
	工程	実績			2		
	単位	目標					以下の検討・作成手続きにおける実施工程数を合計します。①現況整理、②健全度調査の実施、③活用計画の作成、④補修・補強方法の検討、⑤補修・補強設計、⑥施工計画の作成、
		実績					
事業費	千円			7,455			
人員 正規職員	人			0.14	0.47		
	嘱託職員	人					
人件費相当額	千円			1,201	4,126		
事業費・人件費の合計	千円			8,656	4,126		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	最終目標 22	備考(指標の算定方法など)	
保存・活用方法作成 工程の進捗率	単位	目標			33	67	(累計)100	
	%	実績			33			
	達成率(%)			100.0				
	単位	目標						
		実績						
	達成率(%)							
観点	課題の有無	現状の「見える化」					その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・(無)	・歴史資源として位置づけられている名古屋港跳上橋を保存・活用は、必要な事務事業です。					
	目的・水準の妥当性	有・(無)	・健全度調査の結果、補修の必要があります。					
	利用者などの対象者ニーズ	有・(無)						
有効性	成果の達成度	有・(無)	・順調に事業は進んでいますが、跳上橋の下を航行する船舶もあり、他の港湾施設への影響も考慮し、補修方法の検討を行う必要があります。					
	内容の妥当性	(有)・無						
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)						
	受益者負担の適正性	有・(無)	・限られた財源の中で他事業との調整を行い、事業化に向けた検討が必要です。					
	経済性	(有)・無						

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	○		港らしさの創出に向けて、貴重な景観資源と位置づけられている跳上橋の保存・活用方法の検討を進めることが必要のため。
		維持			
		縮小			
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		調査結果を踏まえ、過大投資とならないような保存・活用方法を検討していきます。			